

令和 元年 9月20日

田辺市議会議長 様

会 派 名 日本共産党  
代表者名 川崎 五一

## 出張（ 研修会参加 ） 報告書

下記のとおり出張（研修会に参加）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

### 記

参加議員	川崎 五一
期 間	令和 元年 8月20日 ~ 令和 元年 8月20日
実施場所 (研修会場、視察先、 相手方等)	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
活動の目的・内容 及び結果等	議会活動集中講座   N東京 質問方法スキルアップ研修 <<初級編>> <<応用編>> 地方議員研究会

報告書は別添のとおり（案内・パンフレット等関係書類を添付すること。）

★講師は、枚方市議会議員を4期務めた経験を持ち、現在は大阪府議会議員政策アドバイザーを受けているとのこと。

初級編では、「質問」と「質疑」の違いなど基礎的なことから始まったが、一般質問では「知っていることを聞き、知らないことは聞かない」という本質的な話もあった。

★質問をいくつかのレベルに分類

レベル1 地元・住民要望型

地域住民の声を聞き、具体的改善を求める質問で目に見えやすい 選挙対策としても有効

レベル2 財政・市政に関するチェック型

決算カードを読み切る能力が求められる

レベル3 行財政改革型

レベル2を理解した上で合理化や組織運営などの課題を指摘

レベル4 政策提案（立案）型

市民の暮らしに直接かかわる施策に関する議員提案 議員のトップアスリート

★市長のタイプによる質問の仕方を変える

講義全体として、具体例に入り込みすぎ脱線することが多く、時間的に全体のバランスが悪かった。

学者の講師は、現実的でない正論が多く語られ、実行困難な話が多い。

政治家の話は、思いや経験が多く、時として本論から逸脱することが多い。

今回の講義は、後者だった。

質問方法スキルアップと題しているが、応用編の講義は、かつての自らの討論や賛否の反省に基づく話で参考にはなったがタイトルには偽りありという感じで純粋に質問方法について学びに来た人にとっては期待はずれのものだったのではないだろうか。

レジュメを工夫すれば初級編と応用編を1コマに収められる程度の内容であった。

主催者に「どうせ公費（政務活動費）で来るのだから」という考えがあるのではないかと。

私費で学ぶものにとって払う価値のあったと思える講義は正直言って少ないというのが、この間こうした講座を受講しての偽らざる実感である。